

令和5年7月14日

報道関係各位

(公財) アイヌ民族文化財団

7月22日(土)・23日(日)

松浦武四郎 in ウポポイ 2023 を開催します

ウポポイ(民族共生象徴空間)では、7月22日(土)・23日(日)の2日間、三重県松阪市と共催で「松浦武四郎 in ウポポイ 2023」を開催します。

本イベントでは、北海道の名づけ親とされる松浦武四郎とアイヌの交流について、パネル展や松浦武四郎記念館館長の山本命氏による「松浦武四郎ミニ講座」のほか、アイヌ文様刺繍体験を通して学ぶことができます。

詳しくは添付していますチラシにてご確認ください。

【同時開催】

日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～ 普及啓発展示会
メナシのアイヌとともに生きる ～加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀～

日時：7月22日(土)・23日(日) 9:00～17:00

場所：ウポポイ(民族共生象徴空間) エントランス棟

- 1) 普及啓発展示会
- 2) 日本遺産「鮭の聖地」の物語・ミニ講座

※日本遺産「鮭の聖地の物語」についてはこちら [鮭の聖地の物語 \(heritage-of-salmon.com\)](https://heritage-of-salmon.com)

取材を希望の方は、ウポポイ公式WEBサイトの「取材申込」から規定の申込書をメールで提出ください。 <https://ainu-upopoy.jp/inquiry/press/>

問合せ先

(公財) アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部
誘客広報部 広報課 ^{かめだ} 亀田
TEL : 0144-84-6534 E-mail : submit@ainu-upopoy.jp
ウポポイ公式WEBサイト <https://ainu-upopoy.jp/>

松浦武四郎 in ウポポイ 2023

「北海道の名付け親」とされる松浦武四郎のふるさと三重県松阪市では、武四郎や松阪を知っていただくための取り組みを、ウポポイ（民族共生象徴空間）を管理運営する公益財団法人アイヌ民族文化財団との共催で開催します。

※止むを得ない事情により内容を変更することがあります。ご了承ください。

期 間 7月22日(土)～7月23日(日)

会 場 ウポポイ(民族共生象徴空間)エントランス棟

参加費 無料



1. 松浦武四郎パネル展

日 時 7月22日(土)～7月23日(日) 9:00～17:00

内 容 パネル展示

松浦武四郎の北海道調査とアイヌの人々との交流をパネルで紹介します
ノベルティの配布と松阪の特産品紹介

特産の松阪茶または松阪産材のお箸をプレゼントします（先着2,000名様限定）



武四郎まつり
マスコットキャラクター
たけちゃん

2. 松浦武四郎ミニ講座

内 容 松浦武四郎とアイヌの人々の交流や武四郎のふるさと松阪について、20分でわかりやすく紹介します。

講 師 松浦武四郎記念館 館長 山本 命

日 時 7月22日(土) 9:30～9:50/11:40～12:00/13:00～13:20/14:30～14:50/16:30～16:50
7月23日(日) 9:30～9:50/11:40～12:00/13:00～13:20/14:30～14:50/16:30～16:50



松浦武四郎記念館
館長 山本 命

3. 松阪もめんコースターへのアイヌ文様刺しゅう体験

内 容 松阪の特産品「松阪もめん」のコースターに、アイヌ文様の刺しゅうを体験していただけます。

定 員 各回先着で10名様まで体験できます
※10名を越えた場合はご希望の方に体験キットをプレゼントします

日 時 7月22日(土) ①10:30～11:30/②13:30～14:30/③15:30～16:30
7月23日(日) ①10:30～11:30/②13:30～14:30/③15:30～16:30

指 導 一般社団法人 白老アイヌ協会



完成見本

松浦武四郎 in ウポポイ 2023同時開催

日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程 普及啓発展示会

メナシのアイヌとともに生きる

～加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀～

日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程は、根室海峡沿岸一万年の歩みを伝える歴史文化ストーリーです。

このストーリーの中で重要な役割を担い、幕末の探検家松浦武四郎と深い交友関係にあった、アイヌ語通訳加賀伝蔵、会津藩士南摩綱紀とメナシ地方のアイヌたちとの関りについて、知っていただくための取り組みを、ウポポイ(民族共生象徴空間)を管理運営する公益財団法人アイヌ民族文化財団、松浦武四郎記念館を管理運営する三重県松阪市との共催で開催します。



期間 7月22日(土)～23日(日)

時間 9:00～17:00

会場 ウポポイ(民族共生象徴空間)
エントランス棟

1. 普及啓発展示会 パネル・資料展示

アイヌと和人がともに臨む蝦夷地開拓を目指した松浦武四郎。松浦武四郎と深い交友を重ね、その想いを継いで根室海峡沿岸のメナシの地で実践した通辞加賀伝蔵と会津藩士南摩綱紀。

松浦武四郎、加賀伝蔵、南摩綱紀の3人が、メナシのアイヌたちとの共生を目指し、いかに向きあったのか。

幕末の蝦夷地で、メナシのアイヌとともに生きた人々をご紹介します。



加賀伝蔵

松浦武四郎

南摩綱紀

2. 日本遺産「鮭の聖地」の物語・ミニ講座

内容 アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵物語

講師 別海町郷土資料館 学芸員 石渡 一人

羅臼町郷土資料館 学芸員 天方 博章

時間 ①9:50～10:20 ②14:50～15:20



共催

三重県松阪市 公益財団法人 アイヌ民族文化財団

日本遺産 鮭の聖地メナシネットワーク (北海道根室市・別海町・標津町・羅臼町)